

2021年11月4日

地鳴りのような低音、迫力あるサウンド効果**「Hizumitas (ヒズミタス)」ファズ・サスティナー****ジャパンビンテージ・ファズのエフェクターを復刻****2021年11月19日(金)発売**

株式会社ヤマハミュージックジャパンは、当社が輸入代理店として取り扱う米国のエフェクターブランド、EarthQuaker Devices（本社：米国オハイオ州アクロン、以下EQD）の楽器用エフェクターの新製品、「Hizumitas（ヒズミタス）」ファズ・サスティナーを11月19日（金）に発売します。（世界同時発売）



「Hizumitas」ファズ・サスティナー



Boris ギタリスト Wata と「Hizumitas」

「Hizumitas」ファズ・サスティナーは、物づくりにパンクロックの精神を貫くEQDが、世界のミュージックシーンで活躍する日本のロックバンドBoris（ボリス）*と協力し開発したエフェクターです。

2019年、日本国内で行われたEQDのライブツアーで、同社社長であり開発者のJamie Stillman（ジェイミー・スティルマン）率いるバンドRelaxer（リラクサー）がBorisと共演、そのギタリストWataのヘビーでサスティンの効いた独特なサウンドにJamieが触発され、Wataとのシグネチャー・ファズの開発が始まりました。

Wataが使用していたのはジャパンビンテージ・ファズで、包み込むような大きな低音と際立つエッジや、ざらついた中高音と力強いサスティンの特徴としていました。このたびの「Hizumitas」はそれを忠実に再現した復刻版として誕生しました。

Borisのライブは、聴衆の服が揺れるほどの強い音圧をつくり出し、身体全体で音楽を感じるステージが持ち味です。「Hizumitas」は、地鳴りのような大きな低音、スムーズでスペーシーなサスティン、エッジの効果に加え、低ノイズで120Wのアンプを極限まで追い込む高い出力を備え、ステージサウンドの迫力をさらに高めます。また他のEQDのエフェクター同様、耐久性の高いツアーグレードに仕上げられており、ライブなどでの使用に安定感をもたらします。

*Boris

バンド結成は1992年、活動は30年に及び、現状のコロナ禍においても精力的に世界を舞台に活躍。
2020年7月に発売されたフルアルバム「NO」をはじめ多数のライブアルバム、シングル、EP、スプリットをリリース。2022年にはUSツアーを予定。

<新製品の概要>

■製品名 「Hizumitas (ヒズミタス)」ファズ・サスティナー

■仕様 コントロール：Volume、Sustain、Tone

スイッチ：ON/OFF

端子：IN/OUT

電源：9V DC

サイズ：120.65×63.5×63.5 mm

■価格 オープンプライス

■発売日 2021年11月19日（金）

▼EQD製品情報ページ <https://www.earthquakerdevices.jp/hizumitas>



Boris

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のもので、発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン 事業企画部 事業企画課

TEL. 03-5488-1674

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口

TEL. 0570-056-808（電話受付：月～金曜 10:00～17:00 祝日および弊社休日を除く）
